

## 「地すべりの素因としての地形・地質 –最新の知見と若手研究成果の報告–」

### 【趣旨】

斜面防災分野に携わる若手技術者を対象としたワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」が昨年度発足した。本ワーキンググループは、当該分野の技術者・研究者にとって、地すべりおよびこれに関連する現象の理解と踏査・分析能力の向上は必須であるとの考えのもと、特に若手への技術継承、研鑽の場とするために支部活動として始めた勉強会である。本シンポジウムでは、そこで議論されたテーマのうち、「キャップロック地すべり」や「河川の攻撃斜面」といった地すべりの素因となる地形・地質の特徴に関する研究成果を主として報告する。

地すべりの危険度評価には、地すべり地の地形・地質・水文等の特性を踏まえた機構の解明や、広域にわたる対象地域の中から不安定な斜面を抽出する技術が不可欠である。近年、地すべり機構に関する知見の蓄積や地すべり地形の空間分布の把握、あるいは GIS・DEM などを活用した地形解析の普及が進んだことにより、地すべり地の定量的かつ広域にわたる評価が可能になってきている。地形解析手法の新たな試み、あるいは東北地方特有の（大規模地すべりの素因となり得る）地形・地質の特徴などに関する事例紹介や基調講演、総合討論を通じ、斜面災害の危険度評価に向けた技術獲得を目的としてシンポジウムを開催する。

### 【キーワード】

地すべり地形 地質 素因 地形解析 深層崩壊 キャップロック地すべり 攻撃斜面 若手育成

### 【開催概要】

日 時：平成 29 年 4 月 24 日(月) 14:00~17:30

場 所：仙台市戦災復興記念館 記念ホール

参加費：無料

### 【講演目次】

○基調講演 「地すべりの素因としての地形地質」

千木良雅弘氏（京都大学防災研究所教授 地盤災害研究部門）

○講 演 –東北地方の地すべりにおける地形地質の特徴と発生機構–

「キャップロック地すべり」

山本佑介氏（株式会社復建技術コンサルタント）ほか

「河川の攻撃斜面と地すべり地形」

高堂陶子氏（奥山ボーリング株式会社）

「数値標高モデル (DEM) による攻撃斜面の抽出・指標化の試み」

林 一成氏（奥山ボーリング株式会社）

○総合討論 司会(コーディネーター)：渡辺 修氏 長谷川陽一氏